令和６年３月１１日

校長先生のお話

防災について

「おはようございます」

今日は３月 11 日です。今から 13 年前に東日本大震災が起きました。午後２時 46 分でした。２万人以上の方が亡くなったり行方不明になったりしました。今日は、その時の話をします。校長先生は武蔵村山市の校長先生で４年生と一緒に高齢者施設に行っていました。４年生がお年寄りの方と交流していると揺れだしました。だんだん揺れが強くなり、近くにあった手すりにつかまりました。子供たちは床にしゃがんだりテーブルの下にもぐったりしました。強い揺れが続き、今まで経験した中で一番長く感じました。学校にもどると、ものすごい津波の映像がテレビで放送されていました。まるで映画のようでした。その映像はあまりにひどいので、今は流されません。

下校は、また地震が来ると危ないので、お父さんやお母さんが迎えに来てもらって帰りました。ただ、電車が止まっていたので、お父さんやお母さんが遠くに勤めている子は遅くまで帰ることができませんでした。多くの人が遠くから歩いて帰りました。幡代小学校の前の甲州街道も家に歩いて帰る人でいっぱいだったと思います。

その後、高速道路が通れず、ガソリンもなくなり、いろいろなものが運ばれなくなりました。たくさんの野菜や肉、魚などが運ばれて来ないので給食が困りました。武蔵村山市の学校は、しばらくの間、おにぎりと牛乳だけの給食でした。

１月１日には能登半島で大きな地震が起きました。千葉の方では続けて地震が起きています。東京で大きな地震が、いつ起きてもおかしくありません。いつ起きても大丈夫なように準備をしておいてほしいと思います。学校にいる時は、先生がいるので、その指示に従えます。学校での避難訓練もしています。登下校の時や公園で遊んでいる時、家でも大人がいない時に起きたらどうすればいいのか、ぜひ考えておいてほしいと思います。

今日、校庭に掲げてある旗は、半旗と言って、半分の高さまでしかあげられていません。半旗にすることで、亡くなられた方のご冥福をお祈りしています。黙祷も行われます。日本はどこでも地震が起きます。大きな地震がいつ起きても、大丈夫なように準備をしておきましょう。

さあ、今の学年も、あと２週間になってしまいました。今週も元気に仲良く過ごしましょう。

表彰：レシピコンテスト参加賞

５３０（ごみゼロ）作戦皆勤賞、がんばったで賞

バスケットボール